婦人衛生雜誌

大正十三年九月五日發行

第三百七十四號

婦人衛生雜誌

第三百七十四號目次



腸窒扶斯の個人的豫防法

醫學博士　村山達三述

本篇は村山博士が幾多の實地的觀察に基づき、極めて通俗的に腸窒扶斯の個人的豫防法を說かれたもので、本會員諸姉の好參考資料と存ぜられましたから、もと國家醫學會の講演でありましたものを玆に掲げさしていたゞくことと致しました。

腸「チフス」豫防の聲近來次第に高きが大凡豫防には周圍に病毒が全くない樣にする例之歐米の大都市の如く衛生施設を完備する事により「チフス」の危險を避け得るのであるが第二の方法としては個人的の豫防法で（イ）抵抗力を增進し病毒に逢ふてもそれに耐え得る樣にする卽ち積極的の方法と（ロ）何々は飮食すべからずと云ふ消極的とに分かれる。理想としては衛生設備の完全を期し上水、下水の完備、衛生試驗所、傳染病院、消毒所等の充實を圖り塵埃の處分、蠅の驅除、食品警察の行き届く事、保菌者の監視等により腸「チフス」患者の劇減を見たる例少からざるが我國に於ては今日直ちに是等萬般の改良整頓を望む事が出來ず殊に昨年九月の大災厄後は東京などに於ては衛生狀態が甚だ不良に陷り且衛生施設に於ても一層の缺陷を來した。

されば今日は周圍の狀態を良くして傳染病を豫防する事は餘程困難となり止むを得ず個人的の豫防法により豫防の實を擧ぐるより方法はないと思ふ。

消極的個人的豫防法

この問題は一見頗る容易なるが如きも實際は然らず又頗る卑近なる問題なれ共解決困難である。

腸「チフス」は經口的傳染病なる事明白であるが、傳染の徑路につきて考察せんに、

ブリッヂ氏の調査によれば、

(一)接觸	四、二〇二例
(二)水	三九九例
(三)牛乳	三〇九例
(四)其他の食料品	一四一例
(五)洗濯物	三九例
(六)看護	一〇八例
(七)肥料及便所內容	二六例
(八)試驗室感染	一一例
(九)ソノ他	四〇例
(一〇)調査區域外より移入	六一四例
合計	五、八八九例

であつて外國にては接觸傳染が主である事が分明である、又水、牛乳、其他の食品よりするもの合計で八百四十九例であり前者の五分の一位である。

然るに我國では事情が異なり不良の食品、生の魚類其他、又飲料水雜用水の不良による事少なくないと信ずる　土壤の汚染と云ふ事にも相當の注意を拂ふ必要ありと思ふ我國にては內務省衞生局の調査によれば、

七五一六五人につきての調査

水系傳染	一〇、七二五人	一四、二七〇%
飲食物系傳染	八、四四四人	一一、二三〇%
接觸傳染	一六、三九三人	二一、八一〇%
不明	三九、六〇三人	五二、六九〇%

前記數字に依り不明を除きたる三種の傳染徑路中に於ては接觸傳染(看護從事四八〇六人其他一一、五八七人)は其約半數を占め他の半數は水系と飲食物系傳染と云ふ成績を示して居る。安全なる食料品の講究が必要であると同時に亦危險なる食品につきても以下考察して見たい。

第一の問題は魚類であり魚類の危險程度如何は大に注意を要する事である、我國では地理的關係から食料として魚類は米食に次ぎて大切である。

生の魚、刺身とかすしとかを食する習慣は非常に廣がり居るのであるが魚類が食膳に上る迄には魚屋

の店頭に於て十分注意して蠅帳の如きものを用ゐても魚屋迄來る前漁夫の手より轉々として種々の人手に渡りその間何れかにて病毒に汚染せられたりとせんか上記の魚屋ばかりにて注意しても不可である勿論魚屋に來てからの病毒汚染はそれにて防ぎ得るのであるが。

即ち出所の不明なる生魚は口にせざる事が大切である、魚類は燒きたる場合に十分に燒けて居らぬ個所に病毒が潛む場合を考へれば矢張煮た方が安心である事勿論である。西洋で生の魚は食はぬ樣であるが生蠣は米國、英國、佛國等で一部の人によりて愛好せられ又生の貝類も食べられる事がある、西洋の河川は下水の關係で一層不潔であり生蠣は我國の方が遙かに清潔と思ふのである。

魚屋店頭の改良、魚市場の改良、又漁場より魚市場迄の道程に於ける清潔法の講究等が十分行き屆かぬ中は生の魚は危險と見る方が至當と思ふ。

酢の物も以前より知られて居る如く魚肉に酢が働きその部分の蛋白が凝固しその內部には酢が作用する事がないから黴菌の內部にあるものはそのまゝ殺されずに體內に入るのである野菜につきても略同樣の事が言へるのである西洋でも馬鈴薯の「サラダ」は危險とされて居る。

香の物につきては二木先生の御調べでは淺漬新漬は危險であるがヌカ味噌漬は殺菌力あり澤庵及梅干も同樣なる故安全である果物につきては皮をむきて食べるものは割合に危險少ない。

清涼飲料水も假令罐詰でも危險の場合があるとの事である氷につきては氷が配達せらるゝ迄にも隨分危險の方法で持ち運ばれるのであるが飲料の中へ氷片を入れる事なども考へて見ると危險である「アイスクリーム」も同樣である豆腐につきても冷「ヤッコ」などは危險なる事言ふを俟たぬ「サンドウイッチ」の少し古くなつたのをたべ三人の中二人「チフス」に罹りその他の一人は曾て「チフス」をやつて居つたので免れたと云ふ事である「バタ」や殊に「クリーム」は危險

である事がある。

要するに支那料理式に火にかけたものを溫かき中に食する事にすれば最も安全である支那では安全を圖るにも國家が微弱で個人主義的に發達し來り安寧秩序も國にたよる事能はず馬賊に依賴する場合があると云ふ事であるが支那料理はこの點につき徹底して居ると云ふべきである。

最も大切の事は料理して時間の經ぬ中に食べる事である卽ち食品に蠅でもたかり病毒でもその上に撒布され時間が經つと黴菌が盛んに蕃殖する虞れがある爲である此意味で古來宵越の食餌は更に煮返す必要のあるのも自明の理である。

食品は蠅帳の中に入れ置く事を忘れてはならぬ。

水につきては飲料水の淸淨なるを要する事勿論なれ共夏時は湯さましか麥湯を用ゐる方適當にて其他雜用水に注意を拂ふ必要あり場合により漂白粉にて消毒を要する事あるべし井戶は開放式のは危險である近來警視廳では管井戶ポンプ式を奬勵して居る。

尚臺所も理想としては蠅の出入を嚴重に出來ぬ樣になし爼、流し元等は淸潔に且時々乾燥せしむる必要あり便所の構造も同樣にて窓口汲取口等を金網又は寒冷紗にて張り蠅の出入を嚴重に監守する。

蠅の病毒傳播者たるは周知の事である、蠅の發生を未發に防ぎ又發生せる蠅はつとめて殺すのを必要とするのである。

鼠も病毒の傳播者となる事があるから食品に鼠の出入せぬ樣注意を要する。

豫防注射

腸「チフス」豫防接種は主として我陸海軍を初め列强軍隊の夙に實施し來たる處である余は曾て豫防接種後の「チフス」患者につきて記述した事（醫學中央雜誌大正、九年六月五日發）があるがその中より更に抄錄する。

「今回の大戰に於ても光輝ある成績を擧げ得たるが從來戰疫としての腸「チフス」の慘害如何に甚しかりしか其例をマルクス氏の記載に求れば「軍陣衞生統計より二三の數字を拔萃せんに一八七〇年乃至七

一年の戰爭に於て獨逸軍は七三三三九六人の「チフス」患者發生し疾病により死亡の六〇％即八三七九人は「チフス」に死亡せり米西戰爭に於ては一〇七九七三人の米國兵員中二〇七八八人の「チフス」患者を發生し一五八〇人の死亡を出し其他疾病に因する死亡中八六％に相當せり」。

「罹患率を減少せしめ得ること明白なれども同時に死亡率を減少せしむ但し之を否認せんとする學者なきにあらず、我陸軍の成績を見るに軍陣防疫學教程によれば「接種者の患者及死亡者は共に非接種者の夫れに比して約七分の一に當り又之を日露戰役前七ケ年の平均一年兵員每千比例(患者五・〇一％ 死三〇・九六％)と比較するに接種者にありては患者比例に於ては日露戰役前の約七分の一、死亡比例に於て約九分の一に減少したるに拘はらず非接種者に在りては患者比例に於ても死亡比例に於ても依然として日露戰役前と殆ど差異なし」。

陸軍に於ける豫防接種濟否別腸「チフス」死亡表

年次	平均一日現在人員死亡千ニ對スル比例 接種者	非接種者
明治四十一年	—	〇・九五三
同　四十二年	—	〇・六三七
同　四十三年	〇・一六八	〇・七九四
同　四十四年	〇・一二八	〇・四八四
大正元年	〇・〇八八	一・一五〇
計及平均	〇・一一二	〇・七九二

二次接種者死亡率　九・三　一次接種者死亡率　一六・五
非接種者死亡率　二一・三　(以下略)

『又接種者にありても接種回次を重ぬるに從ひて症狀輕く死亡率を低減す』。

尚我海軍に於ても同樣の好成績を擧げて居る。

又世界大戰に於ても非常の好成績を擧げて居るがしかし中には死亡率の必ずしも減少せざる事はガランボス氏の唱る處であり尙フリードベルガア氏などは今回の戰役にて「チフス」發生の少きは主として衛生設備が完全となりたる爲であるとし大體に於て

「チフス」は次第に減少しつゝある病氣であり、又獨逸海軍に於ては豫防接種を勵行せるに拘はらず却りて戰役第二年の如きは患者が多くなつたと云つて居るフリードベルガー氏の說は有力である爲、豫防接種の實行者ファイファー氏などは大に辯護に努めて居る。

大體に於て豫防接種の有效なる事は今日疑ふべからざる事實と見てよい。

歐洲大戰爭當初には豫防注射は連合軍の方が一步早く實施し始めたが獨逸側は少し立後れの氣味があつたが間もなく全軍に勵行する樣になつた獨逸側が何故に立後れたるかを推察するに西部戰線は獨逸從來より「チフス」撲滅を多年實施し來る地方である爲保菌者などは表が出來居り組織的に急速に處置せられる等豫防注射によらずとも大丈夫と云ふ自身があつたのではないかと思ふ即ちこの地方には處々に細菌檢査所などもあり活動し來つたのである。

駒込病院では從來看護婦が從來一ヶ年十四五名づつ「チフス」に感染し中には不幸犧牲となる者もあつたが數年前より豫防注射を勵行し居り罹患するものが劇減した、即ち三・八％の罹患率を一・九％に低下せしめたのである。

叢談

結核豫防法

醫學博士　佐々木秀一　述

○大震大火災を每年反復

吾國に於ては結核病のために年々十幾萬の死亡者を出して居ります。此數は丁度昨年の大震火災に於ける未曾有の大慘事であつた死亡數と殆ど同數でありますが、結核の死亡は何十年に一回と云ふやうな地震とは違て每年々々此慘事を繰返して居り而かも年々增加の傾向であります。殊に東京市に於ては震

災後家屋衞生が行屆かず、分けても空氣中の飛塵が殊更多い結果、一般の呼吸器病、就中肺結核病の多い有樣で甚だ寒心に堪へぬ次第であります。而して結核病の有爲の青年を犧牲にすることが多きが爲に國力發展の上に重大な意義を有することは皆さんの既に御承知の通りであります。

○貧弱不完全なる衞生施設

何故にかく結核病殊に肺結核の蔓延を防壓することが出來ないかと云ふと、之は國家の一般的衞生設備が不完全だと云ふ事が先づ重要な原因になつて居ります。例へば都會に於て道路の清潔法、飛塵防壓法に向つて十分な施設が行へない事、家屋の構造其の他各種の附隨事項に於ても幾多の缺損があり、之を強壓的に改善する市民の自覺と資力とが乏い事等が夫れであります。

然し是等の施設は、國家又は都市の經濟問題に關すること故、差し當り急速に改善を望むことは先づ以て不可能の狀態であるかの樣に思はれ誠に遺憾に存じます。

○結核豫防の知識が缺乏

次に結核豫防の完全しない原因は、個人の一般的衞生思想が未だ十分に發達しない事に基くと思ひます。この事は國民全般の責任であつて、之を根本的に自覺させるためには國民教育乃至中等教育の程度から仕方げる必要があるかと思ひますので、先年私は二三の雜誌新聞に其意見をも書いたことがありました。

一體、肺結核豫防に關しましては既に明治三十七年に、內務省令が出來、大正八年には結核豫防法と云ふ法律が出來て、その豫防行爲に向つて多大の努力が行はれて居るので御座いますが、それにも關らず實際の豫防成績は未だ著るしき結果を示さない次第で御座います。

それと云ふのも如何に法令があつても、國民一般に本當の理解がないために十分なる運用の行はれないためかと思ひます。

○結核は恰も遠方の火事扱

近い話しが現に結核患者を有する家庭に於て、主人が結核で斃れ、つゞいて妻君が又之に感染し、更に子女が傳染したと云ふ様な場合には非常に結核の恐るべき意味を理解致しますが、現に家族悉く健康であると云ふ様な家庭に於ては、その恐るべき意義を理解せず、結核豫防など〻云つても夫は遠方の火事位ひにしか感ぜないのであつて、偶〻家族の者或は使用人の中に肺病患者が出來たと云ふ様な場合に際會して初めて氣が付く様な次第であつて、その以前に罹る者の無い様に豫防しようと云ふ努力は一寸起り難いもの〻様に感ぜられます。然しかく感ぜられるのは矢張り結核豫防に關する知識が少いためでありませう。

○豈圖らんや結核は焦眉の問題

一體、結核病と云ふものは、普通い人の在來考へられてゐるのとは餘程異れるものであつて、危險範圍が非常に廣がつて居りまして、從つて大抵の人類殊に健康を誇つてゐる人でさへ既に知らぬ間に結核感染の徴候を所有してゐる程で御座います。其徴候は「ツベルクリン」の反應と云ふ一種の結核病診斷法を行つて見ますと、成人の殆んど全部がこの反應を示すのでも明らかであります。

○世間の到る處に結核菌

何しろ料理屋のものにも結核患者が可なりにあるし、菓子屋にも壽司屋にも蕎麥屋にもあつて、御馳走をこしらへながら咳を引つかけてゐる場合も相當にありますし、洋服屋や和服裁縫女が咳をしながら他人の服を作つてゐることも可なりにあるし、建築技師、大工、左官、電燈取り付け人が咳をしながら工事をやつて行く場合もありませうし、荒物屋、家具屋、文房具屋、本屋等が結核の咳を引つかけて品物を賣つて與れる場合も勿論あるに違ひない。寄宿舍又は下宿屋、「ホテル」等に於いて結核患者が同居せる場合もあり、その人の用ひた茶碗や箸を一緒の洗桶で洗ふ場合も勿論多いに違ひない。古本屋や圖

書館の本などに結核菌の附著してゐることは之も勿論多いに違ひない。更に進んでは電車の中、劇場、大商店等の雜閙中に結核の咳を散亂させてゐる場合も勿論多いし、殊にすべての人間が必ず手にする所の通貨は、必ずやその以前、重症結核患者が結核菌を塗りつけた場合も必ずあるに違ひない。

○健康者も皆結核患者である

かゝる次第である故に結核菌と云ふものは非常に廣く世の中に散亂して居るので、殆んど總ての人類は何時かどこかで結核の感染を受けてしまふ樣な結果が免れないのであつて、外見、全く健康であつても既に結核反應を示すに至る所以であつて、世間には病人とは成らないが然し一種の結核患者であると云つた風の者が無數に居る譯であります。從て幸ひ自分の家に結核患者がないから心配はいらない等と云ふことは、全然成立しないのでありまして、結核豫防と云ふものは患者の有る無しに關らず萬人が之を心得、之に努力するのでなければ、完全な成績を擧げられない次第なのであります。

然しこゝに一つ御斷りしておかなければならんことがあります。即ち結核菌は前に述べた如く世間に廣く蔓延をし、且つ結核病は上述の如く廣く散蔓して居るにしても、結核病なるものはすべて死に價する危險な病氣であると云ふ譯ではないのであります。

○結核の大多數は自然に治癒す

例へば成人の百人までが既に結核の感染を受けた徵候があるにしても其中八、九十人は自然に治癒するか、或は殆んど無害の形になつてゐて、殘る十人か精々二十人位が注意人物乃至本當の結核病でありまして、又其中の大多數は矢張り外觀上の健康者で、業務にも平氣で從事してゐられるので極く少數だけが、まあ本當の病人と云ふに過ぎないのであります。從つてある意味に於ては、極々輕微な結核病ならば、却つて感染して而して自然に知らぬ間に癒つてゐれば、自ら一種の免疫の性質を得て、却つて

好都合安全である位なものであります。然しながらこの好都合及び安全と云ふのは甚だ頼りない不定な出來事であるのでありまして、何時、間が惡くこれが本當の重い結核に仲間入りするか圖り知れないので御座いますし、且つ事實上の結核蔓延狀態と云ふものは、前述の如き有樣にあるので結核豫防の奬勵及び普及と云ふものは、矢張り萬人共同の大事業として努力しなければならない次第で御座います。

〇治癒しない重症結核と其豫防

大事な事故、今一度繰返して申すと、世間の人の大多數は既に一種の結核患者であつても、其大多數は自然に治癒するから割合に心配はない、寧ろ早く結核の輕いのに罹つて而して癒つた方が却て完全な位でありますが、實際の事實に於ては、安全な結核でなく寧ろ危險な結核患者が、現在はまだ非常に多く、其内の約十餘萬人宛が年々其爲に斃れて居る次第であります。斯く安全無害な結核健康者が、何故に危險重症な結核患者になつて行くかと云ふと、之には種々の原因があります。其一は輕症の内に癒せば良いのに之を療すやうに仕向けない爲で、之は治療に關する事故、爰には詳述しません。他の一は結核豫防に關する仕方が惡い爲に、重い強い感染を受けて重症結核になるのであります。故に結核の死亡を少なくする方法は、重症結核患者を出さぬやうにするので、重症結核を出さぬやうにするのは、結核病傳染に關する一般知識の普及と共に、輕症の時期に之を治療する事と結核菌の散亂を十分に豫防する必要が起るのであります。

〇結核菌散亂の豫防と其效價

肺結核患者の中には喀痰中に結核菌を出す者と出さぬ者があります。結核菌を出す者は重症者は勿論輕症者でも傳染の危險があるので、斯かる危險な人(外觀的健康者も御座います)を、若し假に全部、隔離して其危險菌を完全に封鎖する事が出來たとしますと、恐らく其翌年からは世間に肺病患者は影を失い、醫者が肺病を見たくても見られないと云ふ

結果になるで御座いませう。結核菌散亂豫防の效價は斯くも大層なものであるのですが、如何にせん、世間に結核患者は無數にある爲め其實行は中々容易な業でないので御座います。

然かし困難だからと云つて、放置した日には國家發展上の重大事ですから、出來るだけ完全に漸次歩を進めて勵行するより仕方がないのであります。其結果、結核豫防法と云ふ法令が組立てられた次第であります。

○結核豫防法(令)の主旨と內容

從つて此法令は「病毒傳播の危險ある、肺結核、喉頭結核」、換言すれば結核菌散亂上に最も危險ある患者を取締る主旨であつて、

(Ⅰ)斯かる危險性結核患者又は死亡者のある場合に(イ)醫者は其診斷なり檢屍をしたら、病人側の者に、其消毒方法や豫防方法の差圖をする事。(ロ)病人側の者は其差圖の通り消毒や豫防法を行ふ事(ハ)警察や役場の者(官廳)は病人の家屋や家具の消毒と其他の豫防方法を命令したり、自分で行ふ事が出來る。

(Ⅱ)官廳は結核豫防上必要と認めたら次の事を行ふことが出來る。(イ)病毒傳播の虞ある職業者に健康診察を行ひ、若し危險ありと認むれば其職業を禁ずる事。(ロ)學校、病院、工場、旅店、料理店、理髮店其他の衆人集合の場所には結核豫防上の制限や禁止や施設を命ずる事、(ハ)古着、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飮食物に結核菌附著の疑あれば其賣買授受を禁じたり、消毒を命じたりする事。

(Ⅲ)地方長官は結核豫防上必要と認めたら、衞生上不良の建物(採光、換氣等)の使用を制限したり禁止する事が出來る、(但し損害補償法は一程度定めてある)。

(Ⅳ)主務大臣は人口五萬以上の市に向つて(時には一定の公共團體に對し)結核療養所の設置を命じ、療養の途なき結核患者を收容させる事が出來る。

其收容患者の決定は地方長官がする。(其經費に就ては一定の規定がある)。

大體、右の如き內容であるが、尙ほ之に附隨した豫防法施行規則があつて次のやうな事が規定されてあります。

○醫師が差圖すべき豫防方法と消毒法

(一)患者の唾や痰は一定の痰壺內にするか、布か紙に受け尙ほ咳や嚔の時も紙か布で受けて散亂させぬ事。而して痰壺の痰は、之を消毒してから便所に棄てる事(消毒には總て二十倍石炭酸中に百倍に割に鹽酸を加へたものを用ふる事)使用した布や紙も必ず消毒するが良いが、止むなくば便所に捨てる事、尙ほ痰唾は其他、下水か便所の外、無暗な場所にしてはならぬ事。

(二)患者の食器、手拭、寢具等は必ず患者專用にし衣服寢具は時々日光に曬す事(本統なれば食器、手拭、衣服等も消毒すべきである)。

(三)患者の室は採光や換氣に注意し、掃除に際して塵埃の飛散を防ぎ、成るたけ濕布で拭くやうにする事。

(四)患者の使用した衣類、寢具、書籍其他を他人に渡す場合は一應消毒をする事(此消毒方法は別に定めてある)。

(五)患者が轉室轉宅した場合は、其室、其家の必要場所は消毒しなければならない。患者が死亡した時は其病室及び用具一切は是非消毒する事。

○多人數集合する場所の設備

(一)學校、病院、製造所、停車場、船舶發著待合所劇場、寄席、活動寫眞館、旅館、下宿屋、料理店、理髮店、浴場、其他の地方長官の指定)に於ては、唾壺を適當の數に配置し、其內には豫め液體(消毒藥なら猶可)を入れて置く事、而して其內の痰唾は(結核菌の有無に拘らず)消毒してから棄てる事、若し其壺の數や位置が惡い時は警察は之に變更を命ずる。來集者は痰壺以外の場所に痰唾をしてはならぬ事。

（二）溫泉場、海水浴場、轉地療養所式旅館、其他一定の旅館、下宿屋、貸座敷等（地方長官指定）に於ては、（イ）營業用寢具には白布を被ふ事。（ロ）此の白布及貸浴衣は使用人の變る毎に洗濯する事。（ハ）若し結核患者又は其疑ある者の宿泊した室及び其使用した品物は消毒してからでなくば他人に用ひてはならぬ事。

（三）病院、其他の患者收容所にては、（イ）結核患者を普通患者と同室に容れてはならぬ、（ロ）結核患者を容れた病室は消毒しなければ他の患者を入れてはならぬ。（ハ）結核菌附著の疑ある物品は總て消毒してから次の者に使用させる事。

○法令は兎角空文に流れ易い

以上は大正八年に出た結核豫防法の大意で御座いますが、實際の結核豫防法として未だ完全でない部分も多いやうです。然かし是だけだつて中々完全には行はれ難いので、殊に法令は、若し夫を行はぬ者は罰則に處する性質のもので、而かも法の目的は罪人を造り出すにあるので無く、其趣旨を貫徹するのにあるのですから、實際問題としての結核豫防は、どうしても國民一般の理解に俟たねばならないのであつて、且つ單に結核患者及び其家族ばかりでなく一般の健康者も自己の豫防的意味から其實行を批判出來なくてはいけないと思ひます。

○時節柄、避暑旅行に就ての注意

申述べたい事は、まだ多數にありますが、最後に時節柄の注意を一言します。避暑地殊に海水浴の出來る地方は、夏以外の時節に於ては結核患者療養の好適地である爲め、多數の患者が參つて居ります。患者の居つた家なり、室が又直に避暑客の御用に供せられるのですから、室の消毒が良く行はれなければならぬのです。消毒さへ完全に行はれれば、少しも傳染の危險は無いのみか、却つて安全位なもので問題は其土地や家や季節にあるので無く唯消毒の如何にあります。尚は旅館などの夜具や浴衣や食器や洗面器や其他の用具も果して消毒などが行はれます

か、斯かる事も其適否を批判する素養がないと時としては甚だ危險な譯であつて、子女の健康の爲に行つた避暑行爲が却つて結核感染の結果を産むやうな不幸も出來るのであります殊に多人數一時に殺到するやうな旅館などでは、浴衣や夜具の白布などを一人毎に洗濯する譯に行かず、まして之を消毒する事などは到底出來ますまい。室の掃除も兎角不完全で疊を濕布で拭くものなどは殆どあるまいと思ひます故に斯かる事柄は總て各自が相當に心得て居て之に處さなければならぬ事と思ひます。

自然と人

ヘルマン、ヘッセ　述

W G　譯

吾々の文化時代に於て藝術家、殊に藝術的文學者等が、都人士女に及ぼした影響は實に著しいものである。例へば田舍の風景を繪畫的に觀るといふ事は、一種の作法で且つ義務となつた風がある。避暑客や旅客などは、雲の色彩變化中に、ある繪や刺繍を思出す樣な「リラ」や「グラウ」色を發見するを喜び、松林の灰緑色が不思議に柔かい空に調和するなど〻云て悅に入つて居る。更に風流氣が昂じて來ては、自然中に於ける音價を論じて、蒼天や日に照らされてゐる岩石は、音が冴えてるとか澄むでゐるとか爭うて居る。而して斯樣な思想の運びや言葉遣で以て眞に自然を把捉し、享樂し得たりとなして居る。そこで唯だ濕潤と乾燥、溫暖と寒冷と云ふやうな事ばかりを氣にして居る百姓を嗤ひ、植物學者や栽培家を笑ひ、遊興や風流のみを逐うのであるが、その實彼等も餘り價値のない數寄を衒ふのに過ぎない。彼等は自然を眺めて、描かれた繪の樣だとか、これを一つ寫生しなければならぬとか、寫生に好適の場面だとか云ふて、頗る風雅で思想幽遠なるものと心得て居る。農夫は單に實際的氣象學に限られて居るが而かも都人士の未だ曾て見たことのない幾多の事象

を看て居り、都人士は又應用美學に由て、農夫等の夢にだも考へない幾多の事象を看取する。併しこの點に於ては何方も、無限に多方面なる自然を單に一方面からのみ眺めて、それを限られた事に當はめようとするのは、共に稚氣を免れないものと謂ふべきである。

吾々は觀る事に就ては、確かに幾多のことを畫家から學び得る、又畫家はその流儀に依り、その目的の爲に觀るのは尤な次第である、併ながら自然の風景を眺めるのに、專ら繪畫の對象としてこれを眺め或は全然繪畫の如く、眺めるといふ事は、畫家ならざる人にとりては何も理由なきことである。畫家ならざる人が描畫的觀察をするのは、一種の戯で、農夫や獵師又は演習中の將校や地質學等の立場からの觀察に比して何も高尚だと云ふわけはない。更に詩人の風景觀照とても、唯その詩的に敍述し得べき事の看取選擇なる限りは、特に高尚な事とも謂へない。

凡て斯樣な眺め方をする人は、常に自然を批評して、これを何等かの目的に利用しようとするものである。故に更に高等の立場から見れば、これは虚にして且つ小なるものと謂はなければならぬ。吾々は自然を眺めて單に豐饒なり、有益なりとのみすべきではない、又以て美なりとすべきであるが、併し又單に美なりとのみ看るべきではない、須らく美醜を超越して觀照する所がなければならぬ。索めずして見出すべきである。判斷せずして觀照し、理解し、吸入し、而してその攝取した所のものを消化すべきである。森より、秋の牧場より、氷山より、はた黄ばめる麥の畑より、あらゆる官能を通じて生命は吾人の内に流注される。山野の吟行は浩然の氣を養ふに足り、全宇宙との合一を感ぜしめる、而かもこれ遊戯にもあらず、諧謔でもない。吾人は何等か特殊の願望を以て山嶽河海を觀覽し、鑑定すべきものではない、須らく明快なる心を以て其間に動き、各自その特有の技能を以て、その教育相應の手段を以て

即ち或は藝術家として或は博物學者として或は詩人乃至哲學者として茲に心ゆくばかり郷土の親しみを味ふべきである。即ち吾人個有の本質が全宇宙に參し、その秩序の中に編込まれてゐることを感ずべきである。かくてこそ初めて吾人は自然と眞正の關係を保つものと謂ふべきである。

例へば繪畫的自然享樂は、單に唯一視覺の上に立てるものであるから、これは既に偏頗な見方と云はなければならぬ。實際野外に於ける全景の最も力強き特有の印象は、往々決して視覺的印象ではない。草村にすだく蟲の聲々、木の間に響く小鳥の歌、さては澎湃たる浪の音、颯々たる風の聲、凡そ耳を掠むる所のものに比すれば、目の見る所は又言ふに足らざるが如き時と處とがある。更に又菩提樹の花の馨、枯草の匂、潮や藻の香等嗅覺が最も強い印象を有することもあり、最後に鬱蒸、空中電氣、濕度及び溫度並に雲霧等の感觸のそれは恐らく最も強き自然印象であらうと思ふ。是等の神經印象は、往々剛強の人もこれに屈服せしめらるゝもので、これは深刻且つ直接に感情氣分に影響を及ぼすものであるから、詩歌の上には大なる、否恐らくは主要の役目を演じて居るものに相違ない。が併し詩歌も繪畫も是等の印象の複雜にして多樣なる相互作用を敍し得べくもない。

世間には、自然は我輩には何も與ふる所がない、自然は何も我輩の關する所でないなどゝ嘯く人がある。然るに是等の人々も春は嬉しくなり、夏日はつらく、鬱蒸の際はだるく、吹雪には縮みあがる。それが併し既に一種の關係で、唯これを自覺すれば、以て自然を味ふに足るべく、茲に到處自然の美にして、他にあらざるを觀るべきである。

既に此の如くんば、人固より旅行し或は漫遊するを要せずやと。然り吾人にして理想的に健全にして且つ敎養ある成人ならんには、敢てその要もないであらう。然しながら旅行は吾人に種々のものを提供した。肉體上には、健康を增進し、官能を興起せし

むる所の土地及び空氣の變化、精神的には比較の興趣及び征服し得たる自己應調の勝利を感得せしめた。凡そ新しき土地を知らずに、不消化のまゝにこれをその心に抱き居る人は如何に憐むべきものぞ。彼等には旅行家の如き適意の外部的應調能力の缺くるのみならず、特に高邁なる立場が缺けて居る。少しも他の國土を識らぬものは、他國に親しみを持ちようがない、話や噂には聞いても眞に心からの親しみは缺けて居る。從て小兒室以外、その親戚以外には人間の理解なく、これを取扱ふことも愛することも出來ないと云ふ人以上には立て居らぬ。

自己及び附近の範圍のみに限局されて居ると云ふことは一種の貧乏、一種の棄權で、有爲なる職業生活に於て多方面に亙ることが常に困難に且つ稀であるのは如何にも哀むべきことである。幾多の有名なる畫伯は、往々平氣で不體裁な家屋を建てさせるだけ畫家であり、幾多の有名なる建築家も亦その見事なる家屋の周圍に無趣味な庭園を繞らして平氣で居るだけ專門家だと稱せられる。吾人も若し外出したり漫遊したりする稀な美しい自由の時に方つて、些細な特殊の願望に捕へられるならば、氣の毒な譯ではあるまいか。森林は畫家のものでも山林官のものでもない、雲烟は氣象學者のものでもなければ飛行家のものでもない、自然に對しては、何人と雖もこれを取て我物と思惟するの權利があり、その自然との交渉には決して先生を索むるの要がないのである、世人は畫家や詩人より學ぶことが出來るが、同じく農夫や樵夫よりも學ぶことが出來る。修養の偏頗な人には、尚ほ太陽と地球との忘却された友誼が微睡して居るのである。斯の如き人々は、只その目醒むるに方て、詩人や畫家や山林官や嗤ひ、克くその五官及び精神を恢宏して造化の呼吸を呑吐し得べきである。

睡眠

ドクトル　ヤー子ルト述
A、S、譯

睡眠は人々によつて、これを必要とする時間に大變差があります。併しこれは別段精神能力とか壽命とかに關係はないやうに思はれます。

安息を規則正しくすることは、仕事を規則正しくすると同様に大切なことでありまして、休息と勞働とを正當に交替しなければ、精神作業でも身體作業でも、その最高能率を發揮することは出來ないのであります。それに又睡眠は人間の氣分の上に大影響があるもので、よく眠らぬ人は兎角不機嫌で、苛々して往々周圍の人の迷惑となるものである。

睡眠が人間の生活に大なる意義をもつて居ることは、睡眠に關する次の二三の事柄でも分かります。

自然は、長く且つ深い睡眠の驚くべき實例を示して居ります。吾々は、これを以て睡眠の本性を解明する出發點としようと思ふのですが、それは人間の胎兒です。

母親の體内で育つ所の赤坊は九個月間眠つて居るのです。これが母體から離れると目を醒して、直にその手足をばた〳〵したり、泣さけんだりする所は實際その前によく眠てゐたことを示すものであります。

この小さな初生兒が、その九個月の間何をして眠り通したかと考へて見ると實に不思議な事です。九個月の胎兒生活で以て、例へばその後哺乳兒から成人になる迄二十八年かゝるとすれば、その全く人となることをこの九個月間で成就したわけです。九個月の胎内發育に於て小兒は約半「メートル」大きくなつたのですが、大人の平均身長として缺けて居る後の一「メートル」四分の一大きくなる爲には尙ほ二十年を要するのであります。

この九個月行續けざまの睡眠、その間に於ける驚

くべきこの自然の作業は、如何にこれを說明すべきものでありませうか、又これに依て吾々の睡眠に關し何を學び得るのでありませうか。屢々自然に於て見る如く、又實驗に依てこの問題を解釋することが出來るやうになりました。と云ふのは、胎兒の血液及び體液の中にはヨードの含まれてゐないことが分かつたのであります。

この「ヨード」と云ふものは、人間の甲狀腺からこしらへられた物質であります。甲狀腺(喉頭の兩側下にある腺で、バセドー氏病で腫れ、月經時に腫れるのも此腺で、指で觸つて見れば分かります)は、內分泌腺と云ふて、それから分泌される物質が血液の中に移行いて、身體中に分配され、それで以て一定の生活に必要な化學的作用を起すものであります。汗とか、淚とか、鼻汁などは血液の中には入らず、皆多に出されるもので、甲狀腺は是等のものを分泌する腺とは反對であります。それで內分泌腺と云ふのです。この外にも內分泌腺としては副腎、睾丸及び腦下垂體があります。而して孰れも體內に於て特殊の化學的作用を起すものであります。絶えず繰返す所の同じ強さの同じ作用で幾代となく通つて來たことゝて、各人に於て私の所謂『化學的定型』を作ることになるのであります。卽ち小さくて肥つた人大きくて肥つた型の人があり、小さくて肉のしまつた人、大きくて痩型の人があり、又中肉中脊といふその混合型の人もあります。凡て是等の型に於てはその內分泌腺が幾世代を通じて全く特有の働をして、各々特別の體格を作つたのであります。

それから又甲狀腺の「ヨード」は、仕事に出て體內に生ずる所の毒物や滓渣的物質を解毒する效のものなる事が知られて居りまして、之は特に吾々の纖細な神經系統の爲に大事なことであります。絶えず有力に解毒されて居る腦髓は、毒物や疲勞質の溜つてゐる腦髓とは全く異つた精神作用を營むのです。卽ち「ヨード」の多い人は、恰も水銀の變動し易きが如く精神が活潑で、俗に所謂緊張を示して居ります。實際

この緊張と云ふ言葉には尙は一種特別の秘密が含まれて居る。卽ち副腎と甲狀腺とは、その作用に於て互に相偕進することを示して居ります。副腎は一種の物質、卽ち「アドレナリン」と云ふものを體內に分泌し、それが血管を縮めて血壓を高め、凡ての臟器、特に甲狀腺を興奮させて「ヨード」を出させるらしいのです。併しこの機能は吾々の意志で以て左右することは出來ませんで、交感神經と云ふ一種獨立の神經系統の刺戟に由て働くのであります。

「ポンプ」仕掛に於て、そのゴム管がひどく狹くなりますと、その內に抵抗を生じまして、其結果この高まつた抵抗に打勝つ爲めに「ポンプ」の壓を增さなければならぬわけであります。狹く細い血管を有する人は、高い血壓を示して居ます。これが緊張して居ると謂ふのです。

血壓が高く、甲狀腺のヨード分泌が強いと云ふ樣な體質の人は、矢張かの刺戟性で、モルトケが、その神經を以て『電線の上を行く』と云つたやうな、身心共に活躍すると云つた風の人であります。

そこで副腎と甲狀腺とが共同して強く働けば、それだけ強くその人に一定の特徵をもたせるわけで、つまり他の腺がその分泌物を血液の中へ送つて、體內で反對の作用を起させる所の分泌を壓倒することになるのであります。その副腎と甲狀腺との共同作用に對して反對の作用を人體に及ぼす所の腺は何かと云へば、それは腦下垂體と胚種腺であります。腦下垂體の後の方の部分は、非常に發育を促がす所の一種の物質を人間の血液の中に分泌するものであります。それから又胚種腺或は睾丸の內分泌物は男子の聲音、鬚髯の發育及びその內的意思を促すものであります。さてそこで腦下垂體と胚種腺が副腎と甲狀腺に由てその身體に及ぼす作用を制限されると、その結果はどうかと云ふに、この場合には、小柄で肥つた、非常にてきぱきする、精神の活躍する人間が出來るのであります。斯ういふ質の人では、その甲狀腺は盛に「ヨード」を分泌して、その盛な神經

勞働の結果生ずる所の疲勞物質の毒消を致します。副腎は又甲狀腺の分泌機能を旺にして、その體内で出來る所の總ての毒物を「ヨード」に對して驅出するやうに働きます。而してその結果はどうなりませうか。

この型の人は長時間の睡眠を要するのであります。非常に盡力をした甲狀腺は、その分泌する所のヨード分子が皆疲勞質に結付いてしまふので、暮方には甚しく機能が拂底の體で、睡眠は急劇に襲ふて來る。つまり甲狀腺が全く消燼された樣になるからであります。かうなると疲勞物質は忽ち神經系統を痲痺させて、長い深い睡を起させる。これに由てのみ再び身心を爽快活潑にすることが出來るのであります。それでこの型の成人は通常八時間から九時間位眠るものであります。

右の如く、睡眠と「ヨード」とは原因的に極めて密接な關係があるもので、小兒が生れると直に泣き叫びますが、そのはづみに頸の筋肉の收縮に由て初めて「ヨード」が血液の中へ這入るのであります。而して甲狀腺が完全にその機能を營むやうになるには尚ほ長い日時を要します。これが兎も角も小兒が長い深い睡眠を要する理由であります。

何かの障碍で、生れてからも尚ほ「ヨード」の出來ずにしまふ小兒は實に悲慘なもので、これは精神的にも肉體的にも全く廢物になつてしまふのであります。

次に僅かの睡眠で間に合ふと云ふ人を觀察して見ませう。これは消費した「ヨード」を補給する事の速い人で、其「ヨード」交替の餘り劇しくないものであります。何れの腺も一定の作用範圍があるのですから、斯ういふ人では、矢張それが餘計に働くわけであります。

尚ほ人間の身體に及ぼす氣候の影響を觀察して見ますと、僅かの睡眠で間に合ふ人の本質に就て合點のゆく所があります。日光に發育を抑制する作用のあることは分かつて居ります。北國の人間は南國の

人間に較べますと概して大きくて緩慢で鈍重なのが常であります。且つ情事に冷かである、それは、その睾丸の内分泌が腦下垂體の機能と共に高まつて居るので、睾丸組織中の狹い場所が、その體外への性的排泄を制限されるからであります。北國人の血壓は高まつて居らぬ。これが即ちどつしりした落ついた生活振の人を成す所以で、南國の人の如く早くふけず、早熟せずして往々高齢に達する所以であります。

身體の化學的組成に對する氣候の影響を考へて見れば、「インドゲルマン」種族は、如何に古くから今日の如く樣々な人種でなければならなかつたか、又彼等は一種族を成さず且つ共同の郷土を有し得なかつたかゞ明かになります。

尙又「サウリール」と云ふ巨大な龍の如きものから「レーピンチエル」と云ふ頸の膨れた眼玉の飛出た小さな犬の如きものに至るまで種々の動物の體格や運命に就て、この見地から觀察して見ると餘程面白い事が發明されるのであります。

話が大分枝葉に亙りましたが、右の樣な理由からして、北方型の人は、その體質に依て南方型の人よりも睡眠を要することが少ない。その精神的表現の經過が速かならず、疲勞物質の生成も解毒作用も活潑でない。と云ふて勿論精神能力が劣つてゐるわけではありません。智能と云ふものは、單に腦髓内の化學的及び物理的作用、即ち電子運動と云ふ樣な事にのみ關係して居るものではなく、これには亦一定の腦質が在て、その非常に廣汎な並列的及び相重的關聯が與かつて居るのであります。

睡眠と云ふ事に就て話には、尙ほ病氣の爲に一種特別の睡眠をする人間の事をも考へて見なければなりません。殊に實地上に於ては所謂神經質と云はれる人の睡眠が餘程面白いものであります。元來睡眠と醒覺とは一つの環の樣なものでありまして、終日の勞働に由て體内に疲勞質が溜つて、「ヨード」が消費される。「ヨード」の貯蓄が盡きると、疲勞質に由て身

體中の總ての刺戟傳導系統が麻痺狀態になる、これが卽ち睡眠と云ふことになるのでありますが、この麻痺、卽ち睡眠の作用は、何等新なる働を起さず新に疲勞質を作りもしない。そこで再び「ヨード」が甲狀腺から出來て排出され、それにつれて體內でその作用が有力になつて來ると、これが爲に自ら睡眠が中絕されると云ふわけで、覺醒と睡眠とは、いつも疲勞質と「ヨード」と睡眠の周を廻つてゐるやうなもので、この三つの各が障碍され、恰も環が曲つたり折れたりするやうなものであります。

凡て長い病氣は甲狀腺を過勞させて力が盡きるやうになるものですが、實際「ヨード」は又新陳代謝に由て病原菌から體內に作られる所の滓のやうな物を取除く働をするものであります。長い間の病氣の終には、その病氣の爲に內分泌の平衡が全然破壞される。例へば特に生殖器病は重症の神經質に陷らすものですが、これは一部分は重い新陳代謝障碍と結付いて居るのであります。

斯樣な人は多く眠なければなりません。卽ち斯う云ふ人は解毒作用をする所の「ヨード」が多少力が弱いので、それと平衡を保つ爲めに、疲勞質の量も少なくなければならぬ、卽ち少し働くか或は全く働かないやうにしなければならぬのであります。然るに病人に於ては又其力の足らない「ヨード」が往々毒物としてさへ作用するのであります、所謂「チュレオトキシコーズ」などと云ふ狀態が起ります。

自然はよくしたもので、斯の如き低能狀態を出來るだけ速に免れるやうに努力するものであります。吾々はどの位長く眠らなければならぬかと云ふことを、何で認めるかと云ふに、この問題に就ては一種の感覺器官、卽ち臟器感覺、殊に刺戟が刺戟傳導質の中を經過する速度に就ての臟器感覺が答案を與へます。吾々が朝起きた時に爽快に欣然たるを覺ゆるならば、これは能く睡眠したのであります。これに反して不快に苛々する樣であれば、前に述べた三要素の孰れかに故障があるので、それを整へるこ

とが必要である、場合に依ては醫師に相談しなければなりません。誰でもその體質に應じて十分なだけ睡眠する筈のもので、只よく眠つた後にのみ十分の仕事が出來る、睡眠の價として仕事の時間を延ばしたからとて決して能率が上るものではありません。

育兒

歐米教育視察所感

（日本兒童學會例會演說）

文學士　尾田信忠　述

私は昨年歐米で見て來ましたことのうち、今日は主として普通教育に關することについて御話致します。但滯在の時日が少ないので、固より十分のことは分りません。しかし私の見た範圍内で、私の感じたことのうちから、一二御話申し上げます。

先づ設備、教師、教育の補助機關、名譽の表彰、動物の愛護等について見たところを述べ、次に伊太利の「ファッシスト」内閣の施政方針、及び特に同内閣の教育施設に關して御話致し、終りに伊太利人の天才的なることについての問題を提出したいと思ひます。

I、設備　之に關しては、我が邦の中學校又は小學校が、之を歐米の同程度の學校に比較して、大體に於て甚しく劣つて居ないと言ひ得ると考へます。尤も學校を中心として成立つて居る所謂學校町に於ける此等の學校は、俗界を離れ、閑靜で、精神上一種の善い感じを與へられる様になつて居りますし、又英國の學校、殊に所謂「パブリック・スクール」には、廣い敷地を持つて居つて、青々とした芝生で盛んにテニス等が出來る様になつて居り、唱歌室も上野の音樂學校の大講堂の様に、正面が高く舞臺の様に出來て居て、音樂會の時に生徒がそこへ登壇して、音

樂を奏し歌を歌ふことが出來る樣になつて居るのもあるし、佛蘭西の幼年學校即ち陸軍の中學校は、巴里から汽車行程約六時間ラ・フレッシュといふ田舍にありますが、そこの學校の庭園は其の町の公園にもなつて居つて、實に美しい森があり、嘗て同校の生徒であつたデカルトも、此の森を散歩しながら冥想したのであつたと、そこの校長が申されました位で、そうした羨むべき處もあるには有りますが私の見ました歐米の都會の一部の中小學校は、外面こそ堂々たる煉瓦家屋又は石造家屋で出來て居れ、教室は暗くて採光は不十分なものも可なりあり、廊下は晝でも電燈をつけなければならないところもありました。教室の作り方も、横に廣くて管理上都合が惡い樣になつて居つたところも見ました。學校のそばを電車が通つて居つて、然も殆んど絶間ない位に通るので、やかましくて授業の妨になるところもありました。教室内の机でも二人掛の長い古いのを使つて居るのが獨逸にも伊太利にも可なりに有り、塗板も小さく、敷物も小さい布切を使つて居つたところもありました。中學校の理化實驗室なども左程に完備して居りませんでした。獨逸の小學校では其の設備は可なり出來て居つても、戰後學校の豫算が少なくなつて、藥品を十分買ふことが出來ないので、此の頃はあまり實驗をさせないといつて居つた學校もありました。亞米利加でさへ、昨年九月十二日、「ニューヨクヘラルド」に出た記事によれば、米國では其の新學年の始めに、新たに入學する小學生徒を入れる校舍が頗る不足で、又現存せる校舍も四分の一は一八八六年即ち今より三十七年前に立てられたもので、改造を要するものが少なくない。内務省統計課長ドクトルフィリップ氏の言つた通り、學校に入る適當の家が無いため苦しんで居る多數の兒童のために、五萬の新教室を作る必要あるが、其の費用は六億弗で足りる。此の費用は吾々米人が年々菓子のために使用する金の二分の一に當り、「シガレット」の年々の消費金額よりも少なく、香水「コスメチック」

の年々の消費金額よりも少ないことは言ふまでも無い。實に吾々が年々贅澤品のために費す金額の四十分の一に過ぎないのであるとの事である。

2、教師　我が邦の中小學校と歐米の略ゝ同程度の學校と比較して、何となく我が方の見劣りせるが如くに感ぜられましたのは教師のことであります。

私は小學校よりも中學校程度の學校の方を多く見ましたが、それ等の學校の教師は、資格より言つても、學力又は教授法より言つても、現在に於ては歐米の方が遺憾ながら餘程進んで居ると認めざるを得なかつたのであります。一二三の例を擧げますれば、佛國の「リセー」即ち我が邦の中學校と高等學校とを合せたるものに相當する學校の教師になるのには、原則として大學校卒業生たる上に一定の國定試驗を受けて、「アグレジェー」といふ學位を得たものなることを要します。十歳からのものを入れて七年間教育して、普通の大學校に入る資格をも得しめる同國陸軍の中學校即ち幼年學校には、現に四十四名の文官教師が居りますが、其の中三十二名までは「アグレジェー」の學位を持つて居ります。獨逸伯林市内の「ソフィエン・リツェウム」といふ高等女學校に教師の面會日の掲示されてあるのを見ましたが、それによつて其學校の教師の多數はドクトルであることを承知しました。伊太利では一九二三年五月六日發布の中等教育に關する勅令中第三條に、「中等學校の教授は競爭試驗の成績順によつて任命する」とあり、第六條に、「競爭試驗に合格し任命を承諾した者は臨時教授の資格を得、臨時教授は三年間實習の後普通の教授に任命する。臨時教授で其の實習良好で無い場合には三年の末期或は其の以前に於て其の勤務を免除する」とある。それで中等教員の銓衡の我が邦のより嚴重であることが分ります。英國の「パブリック・スクール」では、教師の大部分が B.A 又は M.A でありさうしてケンブリッチ又はオクスフォルド大學出身の教師は「パブリック・スクール」で教授するときに、母校の大學の「ガウン」を著て居るのを見ました。彼

樣に資格が善いばかりでなくて、教授の實際を見て大體に於て學力の豐富であることが窺はれるのであります。教授法についても、伯林の「ケルニッシェス・ギムナジウム」を參觀したときに、こゝの授業の特色は「ミット・アルバイト」だと説明しましたが、教師と生徒と一緒に活動して面白く稽古をして居ました。同市シャロッテンブルヒの「ヒルフス・シューレ」に行つたとき、ある學級の教師が缺勤して居ましたが、他の人が自分が臨時に代理をしませうといつて、十歳位の兒童に「メートル」に關する諸等數の授業をしましたが、順序よく具體的に面白い稽古を見せて呉れました。

我が邦に於て、中學校も小學校も近年教育の進歩は實に目覺ましいといふべきでありますが、教育の效果を擧げるに最も重要な關係をもつて居る教師の資質の向上については、尚頗る注意を要すると考へるのであります。中學校の數は數年來餘程增加して來ましたが、教師の數が不十分で、良教師を揃へるといふことは一般に望まれないで、往々其の學校に必要な教師の數を間に合はせることにさへ苦心して居るところもあるではありませんか。小學校の義務教育を八年に延長することは、今日我が邦の大勢になつて居ますが、それにしても小學校教師の資質が今日のまゝで善いのでせうか。學校の數を增すことも必要であらう、教育の年限を增すことも必要であらう。しかし實質上から教育の效果を擧げるに最も大切なことは、教育に從事する教師の資質を向上させることであります。さうして校舍校具等の設備を善くすることは金さへ用意すればぢきに出來ることであるが、教師の資質の向上といふことは、金があつても相當の年月と色々複雜な注意とを要することであるから、深い用意と堅い決心とで之に取り掛らなければならない事業であると思はれます。

3、教育の補助機關　我が邦では教育は學校だけに限る樣に思はれて居つて、親も子供を學校にさへやつて置けば、子供の知識も人物もそれだけで發達

する樣に考へて居る人がなか〱多い樣でありま
す。歐米でも教育の主體は固より學校であることは言ふまでもないことでありますが、此の學校の教育を助ける施設が色々出來て居り、其の內でも最も注意すべきは各種の博物館であります。歐米の都市には必ず博物館があります。さうして其れがあまり多いので、私は始にはどの博物館も丁寧に見て居りましたが、後にはそこの博物館でなければ見られないといふもの、即ち巴里のクルーニーの博物館では貞操帶ワシントンの博物館では馬の原始より現在に至るまでの進化の實物模型だけを見て、其の他の陳列品は素通りする樣にして見ました、さうして何れの博物館も小學校の兒童や中學校の生徒等は、入場無料であるか又は僅かの入場料で見ることが出來ます。品物の陳列も秩然として順序が能く立つて居り、目錄が出來て居つて、研究上都合の善い樣になつて居ります。時々館員が專門の研究事項について一般の人に講演をして居ることもあります。英國では、教師が中等學校の生徒を引率して、しかも我が邦で往々見る樣に五六十人の多數の生徒を一人の教師が引率して居るのでなく、僅かに十二三人の生徒を引率して、ある博物館で生徒の研究を指導して居つたのを見ました。倫敦市中のある博物館では、母親が連れて來た三人の子供に、此の室に埃及から來て居る珍らしい品物がある筈だから、探して御覧と言つて居ました。獨逸のミュンヘンの理科博物館では、觀覽者が勝手にそこの器械を動かしていゝ樣になつて居ましたが、大きな硝子球の中に太陽系統の裝置がしてあつたのを子供が「ボタン」を押しましたら、實際の通りに太陽のまはりを多くの衛星が運行し出しました。音樂の部で笛の先に小さな皮の嚢がついて居つたのを、其の嚢をつかんでパパー、ママー、エンマ、マリラと人の言ふ樣な音の出るのを喜んで聞いて居たものもあれば、「ラインランド」といふ大きな軍艦の模型がありましたが、其のある部分を押して全部の機關の動き出すのを見てほゝゑんで居るもの

もあり、齒車である方向の運動をし、暫らくして反對の方向に運動する器械を弄して、頻りに首を傾けて居る子供もありました。我が邦の子供も必ずしも理化に對する趣味が無いわけでありますまい。獨創的精神に缺けて居るのでもありますまい。之に對する敎育が不十分であり、其の施設が缺けて居るがために結果が擧つて居らないのではないでせうか。それから歐米の都市には美術館が公開されてをつて誰でも古今の名畫を鑑賞することが出來る樣になつて居ります「ルーブル」、「ヴァチカン」の美術館は言ふまでもなく、其の外の美術館でもラファエル、ミケエロアンヂェロ、ミレー、ルノアール等の名畫はいくらも見ることが出來ます。數十萬圓數百萬圓の價のある畫も陳列されてあります。我が邦では、名畫は富豪の庫の中にあつて、富豪のみ之を樂しんで居ります。中學校や女學校の生徒でも、雪舟や探幽の畫をしるも其の畫の形式だけをやつと歷史敎科書に寫してあるのを見る位である。こんなことで美術の鑑賞眼を養ふことや、又それから感情の敎育をすることがどうして出來ませう。

伯林市中で夜僅かの金で望遠鏡を子供に貸して天體をのぞかせて居るのもありましたが、かういふことも學校敎育の助になると思はれました。

4、名譽の表彰　外國の學校では其の學校出身者の名譽を表彰する仕組が出來て居つて、社會でも社會のために寄與貢獻した人を色々の形で表彰する樣になつて居ますが、これも一般の敎育に資益することであると考へます。獨逸でも佛蘭西でも、大抵の「ギムナジウム」、又は「リセー」は、最近の戰爭で一身を犧牲に供した出身者の氏名を板面に刻んで、生徒の目に觸れ易いところにかけてあります。英吉利の小學校でも、其の出身者及び敎師であつて從軍戰死した人の同樣の板面の飾られてあるのを見ました。巴里の「エコルー・ポリテクニック」には、同校出身の大統領「カルノー」、ジョッフル元帥等の寫眞を一つの額の中に入れ、其の上部に「祖國のため、科學のため、名

譽のため」と記されてありました。此の名譽のためとある一句は、能く佛國人の特質を表はして居る樣に考へます。それから歐米の都市には、社會に貢獻した偉人、例へばパスツール、ワーグナー、リンカーン等の銅像又は記念碑が、至るところ其の緣故の地に立てられてあります。我が邦では軍閥攻擊の名のもとに、嘗ては軍神と唱へられた廣瀨中佐の銅像の存在するさへ忌はしと言つたものが、可なりの有識者と思はれる人の口から出たこともあつた樣であります。これは感情に走り易い我が國民性の短所を表はして居るものではないでせうか。軍閥が惡いとしてもそれが凡ての軍人を呪ふべしといふことになるべきではない。況んや軍閥に關係ない軍神に累を及ぼすが如きは大國民の態度ではない。之について米國桑港の公園に、以前より立てられてあつたグーテ、シルレルの記念像を、戰時中も敵國人だといつて破壞しなかつたのみでなく、戰後新たに最近の戰爭に米國のために貢獻したといふので、パーシング大將の銅像が作られてあるのは奥床しい感じがする。其の國のあらゆる名士を葬つてある巴里の「パンテオン」、倫敦の「ウエストミンスター・アッベー」等は、國民殊に青年の血潮を湧かしめ、冥々の裡に敎育上偉大な感化を與へること疑を容れないのであります。ルッソーとなるもヴォルテーア、ユーゴーとなるも、長へに「パンテオン」に祭られるといふ感じは、感劇性に富む佛蘭西人に對して憧憬の念を起さしめるに強大の力がありませう。グロートやマコーレーの如き歷史家も、テニスンの如き詩人も、ダーウィンの如き科學者、ピットの如き政治家、ウエリントンの如き軍人も、或は其の經歷を記され、或は其の記念像を作られて、千秋ウェストミンスター寺院の威嚴を加へて居りますが、此等は元來神經質ならぬ英人にも感化を與へること、必ず多大なるものがありませう。

5、動物愛護　日本人は歐米人に比較して、概して人に對してはやさしいと言ひ得ると思はれます

が、動物に對しては之と反對に、歐米人と違つて寧ろ虐待して居る場合が多いやうであります。日本人は戰爭中でしかも進軍の際でも、敵國の幼兒が道に捨てられてある場合には可愛さうだといつて、之を抱上げずには居られない程のやさしみを持つて居ります。色の黒い人間が惡いことをしたといつて、私刑にかけてわざと自動車で轢きずり殺して殘骸を引きまはすといふことは、とても日本人の堪へ得られるところではありません。倫敦塔の構内に此の首斬臺の上で、サー・トーマス・モアや「クイン」、アン・ボレーンが首を刎ねられたといふものが現在に殘つて居つて、そこに今でも草が生えないといふことである。巴里市中には現に革命當時を追憶せしめる見せものがあつて重もなる人物を蠟細工で作つてあるが、マラーの虐殺せられて居る殘酷なところや、ルイ十六世、マリーアントサネットの獄中の悲慘な場面があつて實に見るに堪へないのである。我が邦では刑場や獄舍の跡に御寺を立てたり、觀音樣を安置したりなどして殘酷な感じを和らげる樣になつて居るのは奧床しいことであります。一人の子をどちらからも自分のだと言ひ爭ふ二人の婦人に對して西洋にソロモンの裁判といふものがあり、日本に大岡裁判といふものがありました。さうして西洋の婦人は兩人とも力のあらん限りを出し引張つたので、其の子を引裂いてしまつたのでありますが、日本のは片方の婦人は可愛さうで引張るに忍びないで他の婦人の方へ引かれて行つたのであります。これが日本人の人に對する情と西洋人の人に對する情とを代表して居るとも見られると考へます。此のやさしい日本人が動物に對しては西洋人程可愛がらないのみでなく、寧ろ之を虐待して居ます。日本では御宮や御寺の鳩位が人間に近づいて來ますが、西洋では鳩ばかりでなく雀でも人間を恐れないで近づいて來ます。巴里の公園にある池に、士女がボートを漕いで樂しんで居ますと、其のそばを鵞鳥が一緒になつて遊んで居ります。之は大人は固より、子供でもむやみに

譽のため」と記されてありました。此の名譽のためとある一句は、能く佛國人の特質を表はして居る様に考へます。それから歐米の都市には、社會に貢獻した偉人、例へばパスツール、ワーグナー、リンカーン等の銅像又は記念碑が、至るところ其の縁故の地に立てられてあります。我が邦では軍閥攻撃の名のもとに、嘗ては軍神と唱へられた廣瀬中佐の銅像の存在するさへ忌はしと言つたものが、可なりの有識者と思はれる人の口から出たこともあつた様であります。これは感情に走り易い我が國民性の短所を表はして居るものではないでせうか。軍閥が惡いとしてもそれが凡ての軍人を呪ふべしといふことになるべきではない。況んや軍閥に關係ない軍神に累を及ぼすが如きは大國民の態度ではない。之について米國桑港の公園に、以前より立てられてあつたグーテ、シルレルの記念像を、戰時中も敵國人だといつて破壞しなかつたのみでなく、戰後新たに最近の戰爭に米國のために貢獻したといふので、バーシング大將の銅像が作られてあるのは奥床しい感じがする。其の國のあらゆる名士を葬つてある巴里の「パンテオン」、倫敦の「ウエストミンスター・アッベー」等は、國民殊に靑年の血潮を湧かしめ、冥々の裡に教育上偉大な感化を與へること疑を容れないのであります。ルッソーとなるもヴォルテーア、ユーゴーとなるも、長へに「パンテオン」に祭られるといふ感じは、感劇性に富む佛蘭西人に對して憧憬の念を起さしめるに強大の力がありませう。グロートやマコーレーの如き歷史家も、テニスンの如き詩人も、ダーウィンの如き科學者、ピットの如き政治家、ウエリントンの如き軍人も、或は其の經歷を記され、或は其の記念像を作られて、千秋ウェストミンスター寺院の威嚴を加へて居りますが、此等は元來神經質ならぬ英人にも感化を與へること、必ず多大なるものがありませう。

5、動物愛護　日本人は歐米人に比較して、概して人に對してはやさしいと言ひ得ると思はれます

が、動物に對しては之と反對に、歐米人と違つて寧ろ虐待して居る場合が多いやうであります。日本人は戰爭中でしかも進軍の際でも、敵國の幼兒が道に棄てられてある場合には可愛さうだといつて、之を抱上げずには居られない程のやさしみを持つて居ります。色の黑い人間が惡いことをしたといつて、私刑にかけてわざと自動車で轢きずり殺して殘骸を引きまはすといふことは、とても日本人の堪へ得られるところではありません。倫敦塔の構内に此の首斬臺の上で、サー・トーマス・モアや「クイン」、アン・ボレーンが首を刎ねられたといふものが現在に殘つて居つて、そこに今でも草が生えないといふことである。巴里市中には現に革命當時を追憶せしめる見せものがあつて重もなる人物を蠟細工で作つてあるが、マラーの虐殺せられて居る殘酷なところや、ルイ十六世、マリーアントサネットの獄中の悲慘な場面があつて實に見るに堪へないのである。我が邦では刑場や獄舍の跡に御寺を立てたり、觀音樣を安置したりなどして殘酷な感じを和らげる樣になつて居るのは奧床しいことであります。一人の子をどちらからも自分のだと言ひ爭ふ二人の婦人に對して西洋にソロモンの裁判といふものがあり、日本に大岡裁判といふものがありました。さうして西洋の婦人は兩人とも力のあらん限りを出し引張つたので、其の子を引裂いてしまつたのでありますが、日本のは片方の婦人は可愛さうで引張るに忍びないで他の婦人の方へ引かれて行つたのであります。これが日本人の人に對する情と西洋人の人に對する情とを代表して居るとも見られると考へます。此のやさしい日本人が動物に對しては西洋人程可愛がらないのみでなく、寧ろ之を虐待して居ます。日本では御宮や御寺の鳩位が人間に近づいて來ますが、西洋では鳩ばかりでなく雀でも人間を恐れないで近づいて來ます。巴里の公園にある池に、士女がボートを漕いで樂しんで居ますと、其のそばを鵞鳥が一緒になつて遊んで居ります。之は大人は固より、子供でもむやみに

鳥に石を投げたりいぢめたりしないからであります。歐米では、荷を牽かせる馬には之に適した馬の種類を選んであります。さうして過重の荷を牽かせることはありません。まして日本に於けるが如く、引き切れない荷物に苦しんで居る瘠馬を丸太でなぐりつけて坂に追上げる様なことはありません、それだから馬も日本人に使はれるより從順になります。西洋人は、黑人の飲んだ茶椀でコーヒーを飲むことは心持ち惡しく感じることがあるらしいが、しかし犬に牛乳を飲ませた茶椀じ、固より之を湯で洗ふには洗ふが、それで自分がコーヒーを飲んで平氣で居ます。斯様な感じは日本人と大分違ふ様であります。兎に角人情にやさしい、さうして自然を樂しみ花を愛する日本人こそ動物を愛護するのがふさはしいのであります。此の美質を發揮する様に仕向けることは敎育上必要だと考へます。英國の敎育方針に如何なる事情の下にも困難に屈しない強い人になることを要求してあると同時に、動物を愛護すべきことをも說いてあります。日本でも、此の動物愛護のことは此の頃段々敎へられて來た様でありますが、尚一般に此の風を養ふことが必要であると考へます。以上述べましたことは敎育に關して歐米と日本との一般の比較でありますが、次に伊太利に於ける首相就任の施政方針演說と敎育に關する施設中特に注意すべきことを御話致し、終りに同國人の天才的のことについての問題を提出して諸君の御意見を伺ひたいと思ひます。

6、伊國首相の施政方針　伊太利の現在の內閣が「ファッシスト」の內閣であつて、其の首相がムッソリーニ氏であることは御承知の通りであります。同氏が「ファッシスト內閣成立後二週日、卽ち一九二二年十一月十六日下院で試みた施設方針演說は、實に堂堂と自己の意見を述べたものであつて、殊に次の一節は誠に痛快ともいふべきものであります。

今や國家は强力となつたのである。若し國家に反抗するものあらば假令「ファッシスト」であつても之を嚴罰に處すべ

きである、政治に從ふものは彼等少數者以外に善良なる伊太利人四千萬人ある事を忘れてはならない。是等伊太利人は、勞働し、生產し且つ民族の根本的基礎を存續するものである。而して彼等は一般破滅の端緒たるべき慢性的騷擾內に投ぜられることを欲しないのである。……內政指導の方針は、之を總括すれば、節約、勤勉、規律といふことである。

出席議員大多數の贊成を得てムッソリニー氏は其の方針を是認せられ、爾來之に基づいて諸般の行政に關し著々實績を擧げて居ります。敎育のことも同氏就任以來鋭意盡力し、伊國の面目を一新せんとしつゝあることは注意すべきことであります。

7、伊國に於ける敎師及び兒童に關する施設　ムッソリニー氏就任後伊國中等學校の學制を改革し、從來よりも外國語を奬勵して列國の事情を明らかにし文化を理解せんとして居ること、新たに高等科學學校を創設し、科學に注意し、工業によつて富力を增進せんとして居ること等、注意すべきことが色々ありますが、敎育に關することで特に敎師と兒童とに關する施設について申上げたいと思ひます。

（い）敎師に關する施設　一九二三年中等學校敎員の待遇法を改正し、其の恩給を增加しました、又是等敎員の成績顯著なるものゝために名譽等級を設けて其の他のものより千「リーラ」の增俸を爲すことゝし、職務のために眞面目に從事し得る樣精神的及び經濟的に著しい恩惠を與へましたムッソリニー首相就任後は、行政整理を爲し鐵道從業員を減ずる等諸般のことに亙つて歲出の緊縮の鋭意斷行中であるにも拘はらず、敎育に關して此の施設をして居るのは、其の著眼の凡ならざるを見るべきでありませんか。

（ろ）兒童に著目せること　ムッソリニー氏の率ゐて居る「ファッシスト」は國民精神養成の根本問題は兒童にある事に著目し Giornale dei Balilla といふ雜誌を出して「ファッシスト」の主義を少年に鼓吹して居ます。これは一見迂遠の策の樣に思はれるが、實際はさうでは無い。兎角一時的の現象に捉はれ易い政治家の中に、かゝることまで注目し努力する人のあるのは實に賴もしいことであります。尙「ファッシスト」の此の策に對して、同國の社會主義者も Ciore といふ雜誌を發行して、少年に其の主義の思想を養成せんこと

に努力して居るのは亦注意すべきことではありませんか。

８、伊太利人の天才的なることについての問題

伊太利の中學校及び小學校の敎育にも、我が邦の敎育の參考になることがありませうが、大體に於て同國の敎育法は之を獨佛英米のに比較すれば劣つて居るといふのが至當でありませう。又殊に同國の中學校は、獨佛英米のと違つて劃一的であるといふ點に於て我が邦のに似て居りますが、しかも我が邦の制度に較べて必ずしも優つて居るとも申されないと考へられます。然るに此の空氣の中に生育した伊太利人の中から時に天才的偉人の出るのは何故であるかこれ實に私の懷抱して居る疑問であります。例へば無線電信の硏究家のマルコニーも「ドレッドノート」型軍艦の創案者も伊太利人であつて、軍人の中にも航空硏究所長ベルドュチイオ氏を始め大砲若くは電信に關する世界的學者とも稱すべき人があります。伊太利の寧ろ貧弱ともいふべき小中學校の敎育の中から、如何にして此等の天才的學者が輩出するのであるか。之について各種の人の意見を聞きましたが或る人が申しますのには、伊國の學校は授業時間が少なくて休暇が多い。即ち中學校でも體操を除いた毎週の敎授時數は二十四五時間しかない。さうして暑中休暇は小學校約四ヶ月中學校約五ヶ月である此の間に勉學の熱心なものは休暇を利用して硏究するから、伸び得る力あるものは伸びるのであると申します。又或る人が言ひますには、伊國敎育の特色は天才的敎育である。小學校も中學校も修業年限をきめてはあるが、實際に於ては學力優秀の生徒は年限に關係なく進級せしめて天才を發揮させる。これこそ能力を發展せしめる所以であると申し、或は又伊國に時々天才的偉人の出るのは彼等の國民性である。即ち天才的素質を持つて生れて居るからであつて、必ずしも敎育の結果のみでは無いのであると言ひました。以れも一理なきにあらずでありますが、私は未だ之を以て滿足な答解であると認められない、尙研究を要することゝ考へます。

子供室とその備品

（三越「カレンダー」所載）

醫學士　小笠原　清　述

自然の儘に

自然兒として生れ出た子は自然のまゝに生ひ立たしめるべきであらう。教育は個人の才能達成を助長せしむる程度でいゝ。親のさかしき智恵に禍せられて行く子は、例へばたわめられたる盆栽の如く、所詮は雄偉な山野の喬木たることを得ない。

何故に所謂初等教育を享くべき兒童の年齢を限定してゐるのであらうか。乃至は何故幼稚園なるものが「文字の教育を行つてゐないか」と以ふ事を熟考する時、私は少くとも幼兒の教育方針に對する、彼等の父兄の反省を求める。素より天才を有する兒童も存する中に、劃一主義の教育を行ふ弊害も意識し得るが、多くの學者の研究を基準として、學齢なるものを定め、この時を以て、所謂「文字の教育」を施すべきものとする以上これ以前に吾人の識官器を完全に使用する教育は先づ行ふべきでないと考へる。理解と判斷との尙未だ正鵠を得ない、幼き腦裡はもつと〳〵自由に休めるがよい。或は誤つた記憶判斷が強く潛在觀念を作つて、その後に於ける觀念聯合作用の誤謬を來す事もないとは云はれぬであらう。

室の位置と理想的の採光法

子供の室に備ふべきものを語る前に、尙小兒の室に就て一二述べよう。先づ室は何處に之れを選ぶべきか。彼等がその日の大部分を送るべき室として、衞生學的の見地から多少の考慮を要する。美しい太陽の光に惠まれてゐる草木が、若く、映えかへつてゐる事を思ふ時、吾等も出來る限りその榮光を享受すべき位置であり度いこうした點から南に開放せる室と云ふ事は第一の絶對條件であつて、之れに缺ぐる所のものは如何に他のものが整備してゐても所詮は何等の價値を認められないのである。北窓黴臭を放つあたりに育まれた弱々しさは、到底劇烈なる生

存競爭場裡に優者の位置に立つ事は出來ないであらう。出來るならば二重「ガラス」を以て圍まれた、日あたりのいゝ室であるべきである。次に室の照明法はどうするかと云ふに、こうして選ばれた室の晝間に於ける採光は完全であるけれど。

目の爲め注意すべき電燈

夜の照明法には尚も一考を要する。近時近視眼者の劇增、殊に幼兒にこれが多く發して、之を知らない爲に意外な成績不良兒を見る事は鼻の疾患と共に教育者の熟知する所であらう。國民保健上坐視すべきでない、その昔陰暗なる行燈の火影に書を繙いた時よりも、白熱せる太陽燈の下中心視力の減退を來せるものゝ多いことは、一面眼の過勞によるものである事を語るものであるけれども、尚靜和なる感情を起さしめる上に於て、照明方法に相當の注意を傾くべきであらう、彼の乳白硝子の日覆を行ふて穩やかさを增す事はどんなに眼に對して效果を齎す事かこうして落付きのある明さに、幼きものゝ敏感を避くべきであらう。更に夏の夜には涼しい電燈覆が考へられてゐる。就眠時消燈すべきか否かと云ふ事に就ても、安眠せしめると云ふ點から云ふならば、消燈が必要であらう。けれども全く闇黑にする事は恐怖感を誘起せしめるから、之れも亦考慮すべき事であつて、これ等の點から云ふならば、取りはずしの自由な電燈覆は必要のものである。殊に夏など眞晝の暑さに疲れ果てた神經を更に焦立たせ、見るから暑さを覺えしめる樣な、赤々と燃え立つ電燈の光は單に眼の衞生上からのみならず、鎭靜作用の上からも、情操作用の上から見ても決して、許容し難いものである。夏の夜の電燈覆としては淡い水色に染められたものこそ理想であらう。そして其裾に結ばれた小鈴が風のまゝに、暗に澄み切つた音を響かす時夏の夜は如何に美化される事であらうか。今や國民生活の樣式も幾變化を來して嘗ては裝飾と云へば贅澤品とのみ考へられたものも、今は文化生活上必要のものとなつたものも尠くない。この電燈覆など

はその適例であらう。

壁の色彩と玩具選擇の注意

在來日本家屋に用ひられてゐる白色壁の如きは、餘りに鋭い光線の反射を來すものである。又褐色の如きも餘りに趣ないものではないか。あの鮮かな淡い綠の壁紙を以て覆ふこそ最も適當のものであらう、まだ哺乳せる兒には搖籃は無二の必要品であらう。自然のまゝなる兒が搖籃に眠るとき、涼しく音立てる風鈴の響は、彼の沙漠の中の駱駝の鈴の音の樣に、人の世の道しるべと響かう。視覺よりも聽覺に敏感な幼兒には廻り行燈の複雜してゐるよりも、風鈴の音こそ美しからう。あの搖籃に荒浪叫ぶ人生の夢を見て眠る天使に幾多の詩が生れ、繪畫が生れたではないか。

次にこうした幼兒に與へるべき玩具の數々も單に色彩のみに留意しないで、發音體を備へる事を必要とするいかに單純な響であつても彼等はどんなにそれに喜び滿足する事か、色彩も幼くあればある丈け濃厚なる單色を選ぶ。そうして彼等は何物をも口にする習慣があるから、色素中毒を考慮すべきである又破壞性に富む彼等に與ふるものとして硝子製のものは絕對的に危險である。金屬製のものも亦この點に留意すべきである。そうして殘されたものと云へば「ゴム」と「セルロイド」と木製の玩具である。

室內の保溫敷物にも此用意

次に室の溫度は可及的平均せしめる事を必要とする。卽ち攝氏十五度乃至二十度を以て適當とする。そしてこれが調節の爲には、冬は暖室裝置を、夏は換氣を必要とする。夏は身心の練磨の爲に、山に海に行く事が出來るから暫く措き、冬の暖室裝置に就て語らう。

炭火中毒の原因は燃燒不完全の爲に酸化炭素の發生する事が主なるものであるが單に炭酸瓦斯の蓄積のみでも不良である。近時燃燒が最も完全に行はれた場合に於ても、尙且炭火中毒の起り得ると云ふ實驗が提唱せられた以上、どうしても小兒の室に火鉢

を用ふる事は絶對に止めた方がよからう然らば何を以て之れに代へるか中央暖室法の理想的である事は今更贅言を要しないが殆んど實行し能はぬとするならば、矢張り完全な煙突を有する「ストーブ」の類を以て滿足すべきであらう。瓦斯「ストーブ」は往々にして括栓の不始末から以外の椿事を惹起する事があるから、惡戯盛りの子供の室に備へる事はよくない。そうしてこうした室溫は完全なる寒暖計を以て注意せられなければならぬ。この寒暖計を備へつけて置く事に就て、世人は餘りに無關心ではなからうか。不完全な寒暖計を室の隅に掛けて置く樣な事では、何等の價値を有する者でない。泌ず檢定濟の起立式のものを机上などに置くべきである。航海に羅針盤なき樣の不安さをどうして堪え得よう。吾人はもつと科學的に教養されなければならない、こうして漸くはい廻るまでの子供には疊の室がよからう。疊の衞生學的研究も殆んど完成せられて、從つてこれに十分の考慮を拂ふならば、リノリウムや板張りの室よりも危險の程度は少からう。斯うして段々年齡を增して、學齡期に近づいたならば、疊の室の塵立たしいよりも「リノリウム」敷きの淸楚なのに如くまい。そうして家庭を樂ましめる設備の數々は段々ある。

裝飾と娛樂情操敎育の資料

情操敎育の必要は今更之れを贅言する迄もない事であつて、優美高尙なる繪畫や壁飾りや、美しき四季折々の花など、いかに荒み行かむとする、心を和げる事であらう。又は「ピアノ」から蓄音機に至る迄、音樂が人の心を喜ばせる事の尠くない事は、樂器がどんな野蠻人類にも用ひられ、彼等を喜悅せしむる事丈けでも知る事が出來るではないか、そして其「レコード」さへ選べば、年齡は問はないで和樂の喜びを味ひ得よう。既に學齡期に達した兒童には、寧ろ世界地圖或は地球儀の類こそ望ましいものである。その他娛樂の器具を備へるならば、素より遊戯の本態は戶外にあらうけれども、大都市では必ずしも充分なる戶外の場所を求め得ぬ。從つて時には室內の遊戯を

も必要とし やう。「ピンポン」や鬪球盤や擧げて數ふべからざる程あらう。そうして所謂學齡期に達した子供の室には、更にその子の机、椅子を置く事も必要であらう。これ等の場合、その子の身長に適應したものを用ふべき事言を要しない所である。

こうして彼等が獨自の王國を建設する時、そうして彼等の創作した手工は、彼等の創造力を刺戟して置かるべき所に配列せられよう。更に既成の何物かを配列し樣とする時に於ても徒らにかの置物の類よりも、自然物の博物標本などこそ益する事が多からう。

家庭衛生

外國品の價値

農商務省の佐々木商事課長が今回奢侈關稅を設けられた理由を說いて左の如く述べられましたが、何分主婦たる人が先に立つて外國品の誤用濫用をやめるやうに心掛けて戴きたいと云ふことです。

今原奢侈關稅を設けた理由は、第一は奢侈を禁止するため、第二は外國品を買はずに內地品を使ひ度いため、第三は日本が最近非常な輸入超過となつて日本の金が海外に多く出で遂に我國は借金國となつて外國の信用は墜ち國內は不景氣に陷つたので之を防がうといふのです。

奢侈を禁止し度いといふ事は今に始まつた事でなく、豫てかう考へて居つた事なのですが、去年の災害によつて五十億といふものがむざ〳〵灰になつて終つたのです、從來は不景氣と言つても、輸入超過と言つてもどうかこうかお金が廻つてゐたのですが五十億の金が跡方もなく無くなつたので日本は二三十年逆戻りをした狀態になりました。それ故國民は臥新嘗膽の苦しみをして貯蓄をして事業を起さなければならないのです。假へば私が百圓の洋服を造

らうとする。併しそれは造へなくともすむ物であつたら、其無用な物を作る代りに其金を銀行に持てゆくのです。さうして銀行に集まつたお金は事業家に廻し色々な堅實な事業を起すのに使ふのです、處が兎角不堅實な方に金がゆくので困るのです、つまり產業復興とか、震災による打擊を樹て直すとか言ふ點から言つても各自に奢侈をやめ銀行に貯金をし、そして堅實な事業に投資する樣に心がけて貰ひ度いと言ふのです。

夫から外國品を買ふといふ事は日本人の惡い習慣であつて、殊に最近は外國品であるといふ丈で多く賣れるといふ不思議な現象があつて、商人はそこにつけ込んで、内地製品に外國品の「レツテル」を貼つて外國品として賣る者さへあるのです、「シヤツ」、毛織物、「メリヤス」等は殊に然うですが其中「メリヤス」は日本が一番發達してゐるにも拘らず上等品として外國物を買ひ度がります。毛織物で洋服地などは隨分いゝ物が出來て居りながら上等品として外國製品を買ふのです、ですから外國の輸入品はどん〳〵増すばかりで内地工業が發達しないのです。

一方輸出についてはまづい物を作つて外國に賣らうとする樣な間違つた考へがあるのです。之を反對に良い物を外國に賣る樣にすれば日本物もよく賣れ行く譯です。斯く日本人自身は内地品は使はずに外國品は益々高くなつて終ふのです。それで今度は、物によつて異ひますが、貿易港に船着の荷物の値段と同じ額の稅金をとる事になるのです、が茲に注意す可き事は内地品はまだ、一文も課稅してないのですから重稅のかゝる外國品と同じ物を半額で買ふ事が出來る事です、然も内地の製品には外國製品同樣のいゝ物がいくらも出來ます。

目に塵の入つた時

汽車や汽船の内では屢々目に小さな石炭殼が飛込んで難儀をすることがありますが、平素でも風のあ

る時は、よく目に塵埃がはいるものです。又小兒は往々遊んで居る時に目に灰を入れたり、砂を入れたり、大工さんは木屑、石工さんは石粉、其他の工場に働いてゐる人では、鐵、眞鍮等の粉、殊に金剛砂が屢々目の中に飛込みます。

その塵埃、異物の種類は實に千差萬別で、又單に眼球と眼瞼との間の結膜囊と云ふ部分に止まつて居ることもあり、白目や黒目に附著することもあり、或は黒目、卽ち角膜と云ふ部分に突刺さつて居ることもあり、甚しいのは、これを突拔いて全く眼球の中へ這入ることもあります。

孰れにしても目に塵が這入れば刺戟があつて涙が出る。これは自然の妙機で、目に入つた毒を薄め、角膜を保護して流し出す所の働きであります。

併し自然の働きで目をパチ／＼させたり、強く涙が出たりしても、なか／＼塵の出ないことがあります。この場合にどうするかと云ふに、大抵の人は手の甲で横にこするのですが、これは間違つた方法ですから、私は茲に目の塵取法を傳授しようと思ふのです。これは私が實地上幾百例に就て觀察し實施して來てゐるのですから、よくのみこんで戴けば確かにお役に立つことゝ信じます。

先づ第一に心得てゐて戴きたい事は、何にても塵が目に飛込むだ時には、決してあわてゝ手でこすつてはならぬ。靜に目を閉ぢて下の方を見るやうにすることです、卽ち首は正面のまゝで眼球だけが下に向く様にするのであります。而して綿があれば綿ですが、若し外出さきなどの時は、指に「ハンケチ」を纏くか或は直接に指尖の腹の所を上眼瞼に貼て、外眥の方から内眥の方へと輕く柔かに撫て見ることです。これが塵の外に出される自然の眼の働きを助ける方法であります。普通人があわてゝ目をこする時は、必ず眼球は上の方に向き、内眥から外眥の方向にこするのですから全然反對になります。これが爲に異物は深く上眼瞼穹窿部と云ふ方に行つて愈々出なくなり、或は角膜に傷をつけるやうな事になるの

です。

暫時右の如き方法を試みても除かれなければ、靜に水でザブ〳〵と洗面する時の様にして御覧なさい。それでも除かれない時には、仕方がないから、なるべく眼球を動かさぬやうに、手拭の様なもので輕く目を縛つて醫師の許に行くべきであります。

若し他人の目の場合であつたなら、靜に眼瞼を開いて見る。而して先づ角膜に何か異物が附著してゐないか、或は突刺さつてゐないかと云ふことを檢査する。但しこれは斜照法と云ふて「レンズ」で光線を應用してゞなければ發見し難い場合が往々あり、又經驗に乏しい人は角膜の後にある虹彩の斑點が角膜の上の塵の様に見えて、それを除かうとして却て角膜に傷をつける様なことがありますが、若し一寸見ても視える様な異物が角膜に附いて居るならば、左手の拇指と示指とを以て輕く眼瞼を開き、右手の拇指と示指とを以て綿塊を撮み、患者には出來るだけ下の方を見させ（顏は眞直にして眼球だけ下に向く様に）、その附著して居る異物の上の處を輕く壓へる。さうすると眼球が上の方に逃げようとする運動に際して、異物は綿で拭除されるものであります。

右の方法で以て除き得ない場合は、機械を要しますから、强ひて除かうとせず、前に述べましたやうに、手拭で目をしばつて醫師の許に行くことです。

若し角膜に異物が附著し或は刺入されて居らねば下眼瞼又は上眼瞼の結膜嚢内に異物が嵌入して居るのですから、先づ指尖を以て下眼瞼を下方に牽き、患者には眼球を上に向けるやうにさせて注意して檢查して見る。若し異物があれば、輕く拭除し或は撥出す。併し大抵の場合は上眼瞼穹窿部に逃竄して居ります。それで下眼瞼結膜嚢内に見つからなければ上眼瞼を翻轉して檢査しなければなりません。この上眼瞼を翻轉することは少し練習しないとむづかしい、特に目に刺戟のある場合には困難でせうが、へたながらも出來ないことはありません。それには先づ左手の拇指と示指とを以て中央部の睫毛を撮み

患者には、なるべく下の方を見させて置いて、今撮んだ睫毛で上眼瞼を下前の方向に引いて眼瞼を少し眼球から離すやうにする。而して右の示指を眼瞼の中央より稍ゝ上の邊に當てゝ壓すと同時に左手で眼瞼を裏返すやうに試みれば、くるりとひつくり返へります。この時右の指端の代りに鉛筆か筆の軸の樣なものを用ゐても宜しい。斯樣にして檢査すると異物は大抵上眼瞼結膜の中央部で緣に近い處に附著して居るのが發見されます。若し發見したならば、前述の如く除き去る。

斯樣に檢査しても何處にも異物が發見されない、而かも矢張ごろ〳〵して目が開けないと云ふ時に、よく檢査して見ると、内眥部の皺襞の處や、或は涙小點と云ふ小さな孔の中に睫毛などが潛伏してゐるのを發見することがあります。併し又その異物は何か涙に溶ける刺戟性のもので、形は見えずに刺戟することもありますから、いづれにしても水で洗つて見るが宜しい。



○人口動態統計に表れたる婚姻

今回統計局より發行された日本帝國人口動態統計記述編中婚姻に關する二三の事項を抄錄して照介する。

○○婚姻數　大正十一年中內地に於て行はれたる婚姻は五十一萬五千九百十六組で、一日平均千四百十三組、人口千に付九・〇一の婚姻がある譯である。之を前年に比べると、三千三百一組を減少し率に於て〇・一三を減じた。婚姻を過去二十年に遡て比較すると明治三十八九年は日露戰役の影響を受けて大に減少したが明治四十、四十一、二年と急劇なる增加を來した。是れ戰役中抑制せられて居た婚姻が右兩三年間に行はれたるものと見なければならぬ。其後大

正六年迄は甚だしい昇降なく經過したが、翌七年に於て頓に上昇し九年は更に昇騰し九・七六なる未曾有の高率を示した。然るに大正十年、十一年と遞次減少に傾いたが七年以前の數年に比較すると尙高率を保て居る。

婚姻の種類　大正十一年に於ける婚姻中普通の婚姻は九割一分五厘を占め、入夫婚姻は二分八厘、婿養子婚姻は五分七厘で之を前年に比較すると割合上普通婚姻は增加し、入夫及婿養子婚姻は減少したが其の異動の程度は極めて微少である。

婚姻の種類を既往に遡て比較すると其の步調甚だ緩漫であるが割合上普通婚姻は漸增し、婿養子婚姻は漸減し、入夫婚姻は減少の傾向を認め大正十一年は此の趨勢に順應した姿である。

婚姻の季節　婚姻の屆出は三月が最も多く、四月五月と逐次減少し六月、七月又は八月が最も少い、九月以後は同月少しく增加し十月、十一月は少く十二月頃に增加し、一月は忽ち減少し二月、三月と急劇に增加する場合と九月から十二月まで一氣に增加して一月俄に減少し、二月、三月と急劇に增加する場合とがあり大正十一年の婚姻月別は後の型に屬して居る。

婚姻者の年齡　大正十一年に於ける婚姻者の年齡を先づ男に就て見ると二十五歲以上二十九歲の者が最も多くて三割六分を占め二十歲以上二十四歲の三割一分之に亞ぎ三十歲以上三十四歲の一割四分是に亞ぎ是よりは年齡の長ずるに從て割合順次減少し十五歲以上十九歲に於ける割合は三分五厘である、次に女は二十歲以上二十四歲が最も多くて四割七分を占め十五歲以上十九歲の二割五分之に亞ぎ二十五歲以上二十九歲の一割五分之に亞ぎ是よりは年齡の長ずるに從て割合順次減少する。而して六、七十歲の婚姻者男は約四千人女は九百人餘あり、又十五歲迄の婚姻は女に於て百十二人ある。

是に由て觀ると女は男に比し婚姻最盛期五年若く然も其割合は男より女に於て遙に高い、尙高齡者の

婚姻は前年と略同樣であるが法定年齡前の婚姻は漸次減少の趨勢である。

○錢湯の細菌

東大衞生學敎室の河石醫學士は市内の浴場の衞生狀態調査の手初めにまづ本鄕區内における浴場五ケ所の浴槽にふくまれてゐる細菌數を調査した、その結果によると一「グラム」の湯の内にふくまれた細菌の平均數は實に次表の如き多數に達してる。

	朝	晝	夜
男湯	六、二五三	八八、八一三	二六九、四〇〇
女湯	七、一一九	九五、四六六	二九一、八八三

概して女湯は男湯よりも汲み出すことがおほいにもかゝはらず不潔で細菌數のおほいのは女が男よりも長湯であるのと排泄物がおほいからである。次ぎに化學的汚染數の調査によれば、一「リットル」中に含有する「ミリグラム」數は

		朝	晝	夜
有機物	男	一・八	四・一	八・五
	女	一・八	五・二	九・九
クロール	男	四・二	八・一	一八・三
	女	四・〇	八・四	一五・二
乾燥物質	男	六五・五	九三・八	一六四・七
	女	六五・一	一〇一・五	一五二・二

であつて、やはり女湯の方が不潔である。但この調査において大腸菌は發見されたが、他の恐るべき病原菌の生存は說明されなかつたのは幸ひである。

○電車の黴菌

電車の吊り皮に巣くつてる細菌の數は少くないものである。これは東京市電車の吊り皮に付いての調べであるが、吊り皮の一部四十平方「センチ」と五十立方「ミリ」の、廣さの部分に巣くふ細菌の平均數は「セルロイド」製の環は一番少く二であるが、皮革や籐に頗る多く實に二十二といふ多數を發見した。

吊皮全體からいふと、滑面部には少く粗面部に多くなつてゐる。ゆゑにことさら把握部を握らず上方の皮革部を握ることは一見如何にも淸潔らしいがその實は頗る不潔な結果になるのである。

しかして吊皮に巣くふ細菌の壽命は、三十六七度

の溫度で平均二十六七日間である。この細菌中には破傷風、結核、「トラホーム」昨今では「コレラ」、赤痢菌など物すごいものが少くないから歸宅後の消毒が大切である。

消毒は千倍の昇汞水か或ひはリゾール石鹼水、「オキシフル」などで手を洗へばよい。

○貸蒲團營業取締

警視廳保安部では廳令を以て貸し布團營業取締規則を公布した右營業者は市內四一六名郡部七六六名で何づれも今日から許可營業してそれ〴〵所轄署に願書を提出することになつた規則中營業者として遵守すべき條項は

一、布團は時々日光に曝らすこと。

二、白布は使用者の變る度に必ず洗濯すること。

三、營業者は何時でも當該官吏の指示ある時に寢具の消毒を施すこと、又干場は必ず設置しなければならぬ假令干場があつてもそれが不適當であれば移轉を命ずること又料金は見易き場所に掲示する事、暴利を貪つたり白布を更る事を怠つたり消毒をしなかつたりすると營業停止又は禁止の處分がある。

○塵埃の分析

黃塵萬丈は東京名物の一つとされてゐるが震災後殊に甚だしく市民の保健衛生上恐るべき結果をまねきつゝある、市の衛生試驗所では今度新たに完全な「ガゾエーター」(空氣吸收量器)風力計、濕度計その他數種の機械を設備して塵埃を顯微鏡的理化學的細菌學的に分析試驗して一定量の空氣中に何の位の塵埃が飛散してゐるかまたその塵埃にはどんな細菌がふくまれ人間の目呼吸器その他の機關に如何なる刺戟や影響を及ぼすかを精密に試驗する事になつた、この試驗は土地の狀況、人家の稠疎、燒失地域非燒失地域等の條件によつてあらゆる方面に機械を備へ付け大々的に調査を行ひその結果を市民に公表し眼鏡の使用によつて自衛法を講ぜしむると共に撒水に藥液を混入しまたは防塵器などによつて徹底的な防止策を講ずる筈である。

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁 東伏見宮大妃周子殿下

會長 侯爵夫人 鍋島榮子

副會長 子爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

理事 鳩山春子

同 岡田德子

同 山口貞子

同 三浦敬子

評議員 入澤常子

同 服部繁子

同 子爵母堂 仁禮壽賀子

同 緒方悦子

同 小川孝子

同 片山龜子

同 丹波貞子

同 男爵夫人 南部殿子

同 男爵夫人 松平芳子

同 男爵夫人 古市幸子

同 相磯まさ子

同 岸澄子

同 宮本樂子

同 守屋千代子

同 長谷川仲子

同 高木鎌子

同 天野多喜子

同 羽田三緒子

同 原光子

同 土肥多越子

同 岡山とし子

同 男爵母堂 加藤鈴子

同 吉岡彌生子

同 高橋孝子

同 中濱芳子

同 子爵母堂 松井正子

同 近藤憲子

同 男爵母堂 青山孝子

同 菊地峯子

同 三宅藤子

同 瀨川さわ子

大正十三年九月二日印刷
大正十三年九月五日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地
編輯兼發行者 莊司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 合資會社 杏林舍

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地
發行所 私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所

東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂
同 市銀座三丁目 東海堂
同 市京橋區鎗屋町 巨明堂
同 市本郷區龍岡町 南江堂支店
同 市芝區愛宕町 明文館

京都市寺町二條南入 若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町 北隆館
同市神田區表神保町 東京堂
同市本郷區本富士町 盛春堂
名古屋市榮町六丁目 丸善書店

腸疾治療劑

ラクトスターゼ

ラクトスターゼはメチニコッフ博士の腸內容中毒說以來有名となれる乳酸菌製劑にして、同博士の以て最良となせる眞正ブルガリアン乳酸菌を生活狀態に於て保有するものなり。本品中に含有せらるゝ乳酸菌は腸中に至り玆に繁殖を遂げ乳酸を釀成して腸內の異常醱酵乃至腐敗を防止し蛋白質の消化分解を完全ならしめ同時に適度なる刺戟を腸壁に與へて其分泌、吸收、蠕動の主要官能を旺盛ならしむ、依之諸般の腸疾患を防ぎ進むで腸內容の防制腐に兼て其排泄を迅速ならしむるか爲め新陳代謝順調となり、所謂早老豫防の效果を完ふし得と稱せらる。

適應症 異常醱酵性下痢、人工營養兒の消化不良、急慢の腸加答兒、皷腸、常習便秘、腸內有害產物吸收の結果として生ずる蕁麻疹、濕疹等の皮膚疾患、腸性貧血、慢性腎炎肝硬化及蛋白質多食を必要とする諸症例へば肺結核、糖尿病等。

■粉末、錠劑各種あり。■各地有名藥舖にて販賣す ■文獻集發賣元より贈呈すべし。

本社 東京日本橋區室町三丁目
出張所 大阪淡路町・臺北府後街

三共株式會社

婦人衛生雜誌第三百七十四號 大正十三年九月五日發行